



「緑のこだま・いずも」

No.26
平成24(2012)
7/9

発行
出雲地区森林組合 出雲市塩冶町967番地1
TEL (0853) 22-4433(代) FAX (0853) 22-5070
メールアドレス: izrinsomu@m1.izumo.ne.jp
ホームページアドレス: <http://www.izurin.jp/>



平成24年度 労働安全衛生大会開催



優良運転者表彰



体験発表



災害発生状況報告



大会宣言



指差唱和

6月22日(金)に、平成24年度労働安全衛生大会を組合本所で開催しました。

今年度の優良従業員と優良運転者の表彰、体験発表、災害発生の状況報告があり、今年度の安全テーマ『確実な 基本作業で 無災害』を再認識し、新たな気持ちで活動を進めるため、大会宣言、指差唱和で全員が無災害を誓いました。

目次 CONTENTS

平成24年度労働安全衛生大会開催	1
平成24年度通常総代会開催	2~3
循環型林業に向けた原木生産促進事業	4
緑の応援団	4
神々の国しまねの森を守ろう!	5
よみがえる やまやま ~神話博しまねにむけて	5
ニューフェイスの紹介	6

平成二十四年度 通常総代会開催



去る五月二十九日、森林組合本所に於いて平成二十四年度通常総代会を、総代百六十四名の出席（内委任状八名・書面議決三十四名）を得て開催いたしました。手銭白三郎組合長の挨拶のあと、来賓の皆様からお祝辞を賜り、大社地区の熱田洋人総代が議長に選任され議事に入り、提案された全議案とも原案どおり可決承認されました。

平成二十三年度も木材価格の低迷、公共事業の削減等、森林・林業を取り巻く情勢は依然として厳しい状況下でありましたが、森林整備部門では、日々蓄積量の増す森林資源の有効活用を図るため、利用間伐や、主伐による素材生産事業に取り組み、山元へ還元できるよう林内作業道の開設や高性能林業機械の導入により低コスト生産を進め、木材生産団地の設定も実施しました。利用事業では、近年急増した松くい虫被害木の伐倒駆除及び被害防止や二ホンジカによる被害対策に、行政と連携をとりながら取り組みました。環境整備として河川や道路の除草に加え民間の剪定、枯損木の処理や木材リサイクルも行ないました。又緊急雇用対策事業も積極的に実施し多くの失業中の皆様へ雇用の場を提供することが出来ました。これらの事業展開をする中で「安全は全てに優先する」を基本理念とし、安全と健康確保の快適職場環境づくりに努め、後継者育成・技術向上にも取り組みました。加工部門においてのチップ生産は出荷調整や原材料の高騰により又、間伐材の加工製品は工事用看板や木製パネル等の製作販売に努めました。公共事業の減少などによって厳しい状況でありました。

平成二十三年度の総事業取扱高は八億四千四百二十万円と計画に対し九十八％に留まりましたが、管理費の節減等により八百五十九万円の当期剰余金を計上することが出来ました。これも偏に組合員の皆様をはじめ関係各位のご理解とご協力ご支援の賜物と深く感謝を申し上げます。

平成二十四年度におきましても組合経営は厳しいと思えますが、継続実施されることとなった「森林整備加速化・林業再生事業」をベースとし「木を伐って・使って・植えて・育てる」循環型林業の確立を目指し、一方では山林から搬出される木材の有効利用や有利販売に努め、又松くい虫被害・ナラ枯れ被害・シカ被害等の防止に積極的に取り組み、併せて人材の育成とともに安全で安心な職場づくりを確立することによって地域に信頼される森林組合運営に役職員一丸となって取り組んでまいりますので組合員の皆様、ならびに関係各位のご理解、ご協力をお願いいたします。

《平成24年度通常総代会提出議案》

- 第1号議案 平成23年度事業報告・貸借対照表・損益計算書・剰余金処分案・注記表及び附属明細書の承認について
- 第2号議案 定款及び共同施業規程の一部改正について
- 第3号議案 平成24年度事業計画の設定について
- 第4号議案 平成24年度内における借入金最高限度額決定について
- 第5号議案 1組合員に対する貸付金最高限度額決定について
- 第6号議案 諸手数料率決定について
- 第7号議案 平成24年度役員報酬額の決定について
- 第8号議案 余裕金預け入先決定について



II. 損益計算書

平成23年4月1日～平成24年3月31日 (単位：千円)

科目	金額
事業総収益	844,245
事業総費用	632,630
事業総利益	211,615
事業管理費	199,161
事業利益	12,454
事業外収益	12,497
事業外費用	10,495
経常利益	14,456
特別利益	5,338
特別損失	5,200
税引前当期利益	14,594
法人税、住民税及び事業税額	6,000
当期剰余金	8,594
前期繰越剰余金	4,301
当期末処分剰余金	12,895

I. 貸借対照表

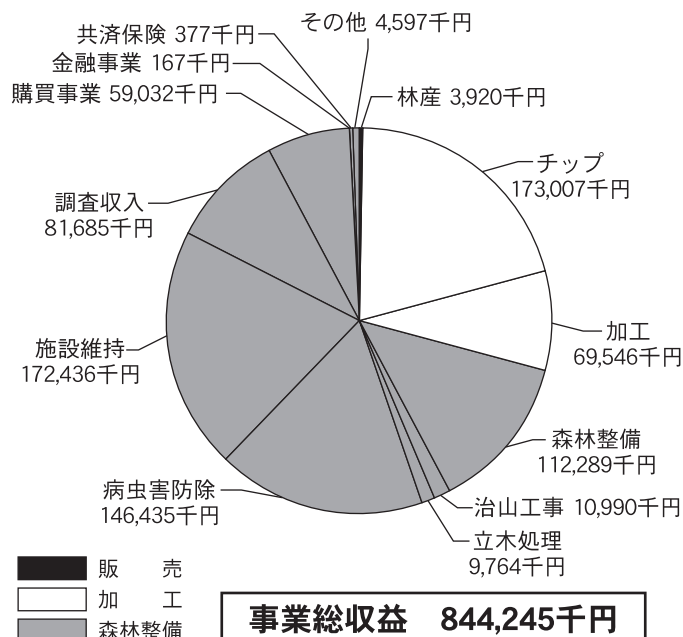
平成24年3月31日現在 (単位：千円)

科目	金額	科目	金額
現金・預金	31,030	買掛・未払金	126,861
受取手形	11,660	その他流動負債	11,227
売掛・未収金	285,589	流動負債計	138,088
棚卸資産	24,659	長期借入金	11,720
その他流動資産	9,749	転貸資金借入	3,750
流動資産計	362,687	諸引当金	41,154
有形固定資産	331,530	固定負債計	56,624
無形固定資産	19,788	負債合計	194,712
転貸資金貸付	3,724	出資金	402,284
外部出資金	30,172	法定準備金	42,010
固定資産計	385,214	任意積立金	96,000
資産合計	747,901	(損失補填積立金)	(71,000)
		(施設整備修繕積立金)	(10,000)
		(林業機械整備積立金)	(8,000)
		(森林整備積立金)	(5,000)
		(労働安全対策積立金)	(2,000)
		当期末処分剰余金	12,895
		(当期剰余金)	(8,594)
		(前期繰越剰余金)	(4,301)
		純資産合計	553,189
		負債・純資産合計	747,901

III. 平成23年度剰余金処分案

(単位：千円)

科目	積算内訳	小計	金額
当期末処分剰余金			12,895
剰余金処分額			
法定準備金	当期剰余金の20%以上	2,000	
任意積立金(損失補填積立金)		6,000	<u>8,000</u>
次期繰越剰余金			<u>4,895</u>



循環型林業に向けた原木生産促進事業

主伐による原木生産を支援します。

助成対象者 森林所有者等（森林所有者との契約に基づき、伐採・植栽を行う事業者が受領することも可）

対象樹種 スギ・ヒノキ・マツ

◆ha当たり標準生産量（単位：m³）

補助金額

500円/m³

補助金算定にあたっては、標準的な蓄積量から算出した標準素材生産量に伐採面積を乗じて算出します。

対象林齢	スギ	ヒノキ	マツ
50年生以下	420	297	279
51～60年生	517	372	348
61～70年生	615	452	420
71～80年生	708	531	521
81～90年生	794	610	
91年生以上	825	647	

採択要件 伐採後の植栽等、森林の再生計画の作成と実施が必要です。

主伐に必要な作業道開設の支援もあります。
申込先等異なりますので、詳しくは造林係までお問い合わせください。

緑の応援団（出雲市役所生涯学習講座）

今年より出雲地区森林組合も生涯学習講座に協力しています。
～自己啓発や生活の向上のために参加しませんか!!～

緑美しい出雲の山や木々を守るため、山や森の現状を知り、自然の接し方、樹木のこと、緑を守るために私達ができることを学びましょう。

開催日	講座内容	時間	講師	会場
11月11日 (日)	間伐・枝打ち 作業の体験	9:30～11:00 出雲市役所本庁 集合9:00	出雲地区森林組合	宇那手町右谷の市有林 (杉造林地)
3月10日 (日)	シイタケ植菌 作業体験	9:30～11:00 出雲市役所本庁 集合9:00	しまねフォレストネットワーク出雲 出雲地区森林組合	西郷町松上の市有林 (クヌギ造林地)

【講座のお申込について】

応募先・問合せ 出雲市役所 文化環境部 市民活動支援課
TEL 21-6528 FAX 21-6730 E-mail gakushu@city.izumo.shimane.jp
応募方法 電話、FAX、E-mailのいずれかで申し込みください。
必要事項 ①講座名(緑の応援団) ②郵便番号 ③住所 ④氏名(ふりがな)
⑤年齢 ⑥電話番号 ⑦託児の希望(無料)
E-mailの申込は件名を「出雲市生涯学習講座申込」としてください。

参加される方には後日、決定通知を発送いたします。

*上記講座(2回分)の参加について

- ① 定員：15名【定員になりしだい締切となります。】
- ② 受講料：1,000円【会場へのバス代、材料費等含む】

神話博しまねカーボン・オフセット

「神々の国しまねの森を守ろう！」

～ 企業・団体等による地球温暖化対策と森林整備への貢献 ～

出雲地区森林組合も取り組みのお手伝いをします!!

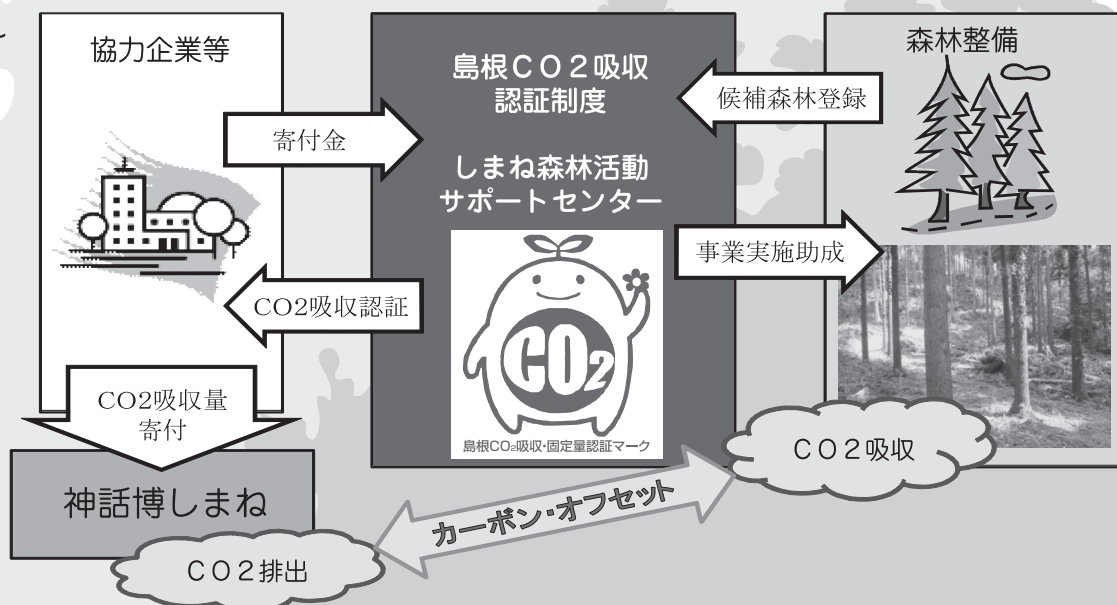
「神話博しまね」の主会場で開催期間中に排出されるCO₂量を、企業・団体等の皆様の協力による森林整備に伴うCO₂吸収量によりオフセット（相殺）する取り組みが、「島根CO₂吸収認証制度」を活用し、進められています。森林組合では、この取り組みに対し森林整備の対象となる候補森林を提案し、企業等の支援を受け、森林整備を促進していくことにしています。

1. CO₂排出量と吸収量

「神話博しまね」主会場で開催期間中に見込まれる使用電力量（27万kWh）から算出されるCO₂排出量は約200t-CO₂と見込まれ、これを約24haのスギ、ヒノキ人工林（出雲市内11箇所）を整備することによって見込まれるCO₂吸収量約200t-CO₂によってカーボン・オフセットされます。

※**カーボン・オフセットとは**、日常生活や経済活動において、自らのCO₂等の温室効果ガスの排出量を認識し、主体的に削減努力を行うとともに、削減困難な排出量を他の場所での削減活動（森林整備、自然エネルギー利用など）に投資すること等により、排出される温室効果ガスを埋め合わせることです。

2. 取組の流れ



よみがえる やまやま

～神話博しまねにむけて～

7月21日から県立古代出雲歴史博物館周辺で開催される「神話博しまね」が開催されます。開催への整備も着々と進行しているようです。

出雲地区森林組合では、行政と連携を取り、組合が事業主体となり「森林整備加速化・林業再生事業」を活用して4月から北山の尾根筋の枯松処理を行っています。また出雲市からの委託業務により景観回復緊急対策事業にも取り組んでいます。島根ワイナリーから出雲大社にかけての松枯れを伐採、場所によっては搬出を行います。搬出跡地への抵抗性マツの植栽も計画されています。

現場泣かせは移動時間の長さです。往復で徒歩2時間の行程です。作業現場は急峻で足場も悪く、枯松も直径40cmから50cmと大きくその上に何時枯れたのか分からない被害木もあります。安全を最優先に事業の完了を目指します。

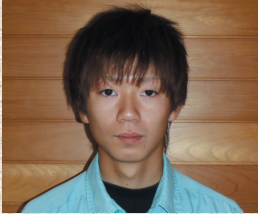
森林に携わった者からすれば景観を回復するために伐採される松に対して複雑な思いがいたします。早期の機能回復に行政と一体になり努めます。

ニューフェイス紹介



長廻 慶

出雲地区森林組合に入り、作業員として3年目になりました。仕事もだいぶ慣れましたが、知識も技術もまだまだ未熟で、諸先輩方の足を引っ張りますが、温かい目でご指導ご鞭撻の程よろしくをお願いします。



佐藤 匡央

去年の4月より森林組合に入組しました。1年間の研修期間を終えて、今年の4月より作業員として働かせて頂いています。林業という特殊な仕事ですが、とまどいながらも少しずつ成長していき、立派な作業員になれるよう努力していきますので、よろしくお願いたします。



石川 弾

森林組合に入組して1年が経ちます。諸先輩方にご指導を頂きながら、目まぐるしくも充実した日々を送っています。子供たちに健全な森林を残すという志を常に持ち、山仕事に汗と涙を流したいと思えます。

組合員の皆様へ お願い!!

- ① 組合員さんの死亡等により、名義変更の必要が発生した時
- ② 転居等により、住所、連絡先が変更になった時

届出の必要がありますので総務課までお問い合わせ下さい。

「森林の施業プランナー研修」 に参加して

森林管理課 造林係 石川 弾

六月十九日～二十一日、飯南町の中山間地域研究センターに於いて第一回目の研修会がありました。

この研修は延べ十日間の予定で十月と十二月にも開催されます。私は組合に入り今年一年目が終わろうとしています。その中で施業プランナーに興味を深く持ち、知識は不十分ですが無理をいって参加させていただきました。

「施業プランナー」とは各森林所有者の山林を一体的にまとめ、その中で間伐などの施業を計画し所有者に提案する専門家の事です。こういう施業の仕方を「提案型集約化施業」といいます。研修ではプランナーの役割、補助金制度の再確認等、また現地の民有林に入り間伐の選木実習を行いました。そこで残す木と伐採する木を検討した際、残す木の樹冠に注目をし将来大きくなる事を想定した伐採が重要だと学びました。私は間伐を計画する時、補助金制度と事業の収支にとらわれ過ぎ、本来の目的である木材生産に適した山林をどう育てていくかといった基本が疎かになっていたように思います。

この度の研修で、様々な専門用語、考え方、事例がありました。しかし得た知識・体験を整理し、今一度認識を改め、

今後の計画に取り組みたいと思いました。集約化施業実施に向けて一歩一歩確実に進みたいと思います。